

記者発表資料

2007年9月19日

建築学会埼玉支所

担当 高木、三條

電話 048-866-8257、0480-22-8000

電子メール s_gakkai@zpost.plala.or.jp

ホームページ <http://news-sv.ajj.or.jp/kcaij/s12/>



埼玉住まい・まちづくり交流展2007プレ企画 「ヘリテージマネージャー養成公開講座」を開催します

ヘリテージマネージャーとは歴史的文化遺産活用推進員のことです。

身近にある古い建物を「まちづくり」の核として活用しようという試みが、最近各地で起こってきています。

すでに川越、秩父などのように歴史的なまちなみを残す埼玉県ですが、一方では都市開発の進行や古い建物の維持管理の難しさなど、さまざまな理由で歴史的文化遺産ともいべき建物が失われつつある状況も現実です。

そこで2000年から毎年開催している「埼玉・住まいまちづくり交流展」の参加メンバーである建築学会埼玉支所と日本建築家協会埼玉地域会が協力して、まず県内にある歴史的文化遺産を発掘し、それを評価し、保全利活用する場の(プラットフォーム)づくりを企画しました。

ヘリテージマネージャーの制度が定着している兵庫県から、この制度を立ち上げるにあたって尽力された建築家の澤良雄さんをお招きして、そのご苦労と、この制度の本質的な主旨や概念についてのお話をうかがう勉強会を下記の通り実施します。

また、歴史的文化遺産を活用するためには、こうした建物の価値を嗅ぎ出す目利きの力が必要です。それには、建物を見学やモノづくりに直接かかわる職人の話に学ぶところが大きいはず。今回は現代棟梁の代表ともいわれる田中文男さんのもとで長らく修業してきた藤野利雄さんから継手仕口の話をお聞きします。

記

- 1 日時 2007年9月22日(土) 13時～16時
- 2 場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講座室 (さいたま市大宮区高鼻町4-219
東武野田線大宮公園駅徒歩5分)

3 内容

(講座1) 13:00～14:45

- ・ヘリテージマネジメント(歴史文化遺産活用)の主旨と概念
- ・歴史文化遺産とは?
- ・それらを遺し伝える意義と目的
- ・それらを活用することの意義

講師 澤良雄(建築家)

(講座2) 15:00～16:00

- ・歴史文化遺産活用のための建築術一大工技術篇
- ・継手・仕口を今新しく問い直す

講師 藤野利雄(真木工作所 棟梁)



4 参加費 1000円(資料代として)

5 定員 30名(申込順)

6 主催: 日本建築学会関東支部埼玉支所、日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会

7 申込先: 日本建築学会関東支部埼玉支所(さいたま市浦和区高砂3-10-4

TEL: 048-866-8257 FAX: 048-861-2384 E-mail: s_gakkai@zpost.plala.or.jp)へ

電話、FAXまたは電子メールで氏名、連絡先を明記。